

イヤーエンドを飾る
最新レストラン案内
ときめく青山、
美食ディナー

MONTHLY

January 2003

1

[マンスリー・エム]
定価530円



マッサー・シンファの時代到来!
来たるべき生活家電空間学
自分へのご褒美&愛しいあの人へ
ベスト家電が、ギフト家電が
デザインのプロたちの最終回答
いま買うべきは、この名品

大画面フラットTVから、クリナー、エスプレッソマシンまで

美しく飾る、 インテリア家電。

生活をデザインする時代だから、



Sweet
Home
Electronics,
Please!

第2特集

恋におちた腕時計

専門家が熱い視線を注ぐ、今年の「買い」36本
特別アンケート「惚れた時計、憧れの時計」
眺めてよし、買ってよしの時計専門店ガイド

Toshihiko Sakai

1992年サカイデザインアソシエイツ設立。通産省選定グッドデザイン賞など多数の賞を受賞する。次世代携帯電話から生活家電と幅広く活躍。大手家電メーカーとのコラボレートも多く、期待のデザイナーである。



Massage chair

2000年に製作された大東電機工業のマッサージチェア。酒井氏の提案は「室内空間に溶け込む、全く主張しない家電」。
CHD701 / マッサージチェア



「家電は家具じゃない。機能と美しさの融合が重要。」 酒井俊彦

サカイデザインアソシエイツ代表

企業の見識にも変化がみられる日本の家電デザインは明るいだろう。酒井俊彦氏は、これまで携帯電話や掃除機など、さまざまな家電のデザインに携わってきた。

「確かに日本の家電デザインを、格好が悪いというひとは多いです。ただこれはデザイナーだけの問題ではないし、企業だけの責任でもない。流通にもユーザーにもいろいろな問題が構築されているんです。でも、企業も異業種とコラボレートしたり、社内での見識も変化しているようで、未来は明るいと考えています。まだ現状は機能の進み方のほうが要求されるのですが、たとえば携帯電話に写真機能はなくていいと思うひともいるだろうし、着メロはひとついい

いかもしれない。しかし現実、他社製品との比較のなかで勝負があるんですよ」

何気ない指摘だが、日本の家電をとりまく環境についている。マスは機能の進化に驚嘆し要望が生まれる。「家電という道具である以上、機能を無視してデザインすることはないです。イスやソファとは違うところ。機能との相性、部屋に置いたときの一步ひいた何気なさが大切だと考えます。昔は掃除機も洗濯機もケストからは見えない場所においてあった。いまでは見える所にあるケースが増えたけど、インテリアではない。だから個性はあるがどこでも置けるデザインを心掛けます。家電は決して家具ではないんですよ」

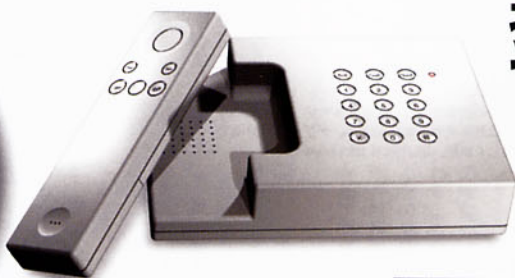
「欲しいものがないならつくっちゃおう!」 それがボクの目指すかたちです。」

西山浩平

エレファントデザイン代表

Washing machine

洗面所に追いやられるような洗濯機ではなく、リビングの真ん中にインテリアとして置ける洗濯機。
デザインは、クラインダイサムアーキテクト。

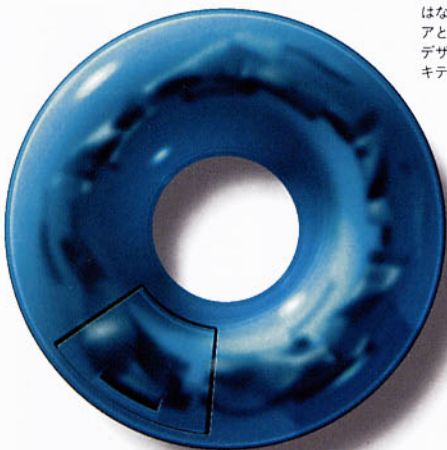


Telephone

オフィス部分とプライベート部分の電話を全て超シンプルなものに揃えたい、という声から生まれた。かける、受ける、留守電、転送のみのシンプルな電話機。
商品化未定 (すべて)

Kohei Nishiyama

cuusoo.comにてみんなが欲しい家電を投票形式で集め、商品化する「空想生活」を企画。最近では有形のものだけでなく、無形のものまで提案している。



Projector

ワンルームマンションには大画面の映像を映し出す壁面がない。映し出す先も考えて、スクリーンも付く床置きプロジェクター。

ユーザーにももっと知識が必要。空想家電時代までしばしお待ちをなく、汚れ物をきれいにしてくれる「これは、家電だけに限らないことですが、今後はどういう物が欲しいかだけでなく、何がしたいのかという観点から考えていくべき。要するに一人暮らしでマンションの1階がコンビニだったりした場合、冷蔵庫を必要としない人がいるかもしれない。レンタルだっていいかもしれない。

ユーザーにもっと知識が必要。空想家電時代までしばしお待ちをなく、汚れ物をきれいにしてくれる「これは、家電だけに限らないことですが、今後はどういう物が欲しいかだけでなく、何がしたいのかという観点から考えていくべき。要するに一人暮らしでマンションの1階がコンビニだったりした場合、冷蔵庫を必要としない人がいるかもしれない。レンタルだっていいかもしれない。

ユーザーにもっと知識が必要。空想家電時代までしばしお待ちをなく、汚れ物をきれいにしてくれる「これは、家電だけに限らないことですが、今後はどういう物が欲しいかだけでなく、何がしたいのかという観点から考えていくべき。要するに一人暮らしでマンションの1階がコンビニだったりした場合、冷蔵庫を必要としない人がいるかもしれない。レンタルだっていいかもしれない。

ユーザーにもっと知識が必要。空想家電時代までしばしお待ちをなく、汚れ物をきれいにしてくれる「これは、家電だけに限らないことですが、今後はどういう物が欲しいかだけでなく、何がしたいのかという観点から考えていくべき。要するに一人暮らしでマンションの1階がコンビニだったりした場合、冷蔵庫を必要としない人がいるかもしれない。レンタルだっていいかもしれない。

アテハカで終わりじゃない、
つくり続けることが大事

今年2月東芝から発売されたキッチン家電シリーズ「アテハカ」。シンプルで独特の質感が美しい。プロデュース/コンセプト設計/デザインを手掛けたのは、建築デザイン集団「インテンシヨナリーズ」。アテハカ（貴はか）とは、品のあるを意味する古語。これは鄭氏のデザイン全般に通じる思想でもある。

「住宅のなかでもキッチンって、なかなか建築家が出せない領域なんです。それをプロダクトで変えていけたらと思っていました。単体として存在するよりシリーズで、なおかつ空間のなかで凛としたたずまいを放つ家電にしたかったんです。それと普通にいいものを、ある意味で定番的なものをつくりたかった」

最新モデル、新機能が優先される大手メーカーで、鄭氏が思い通りに製品をつくれたのは、ビジネスプランにまで踏み込んで提案できたからだという。考えてみれば、ファッション市場では高級品と廉価品が共存している。家電にも同じように選択肢があつていいはずなのだ。

「マーケットとしてはコアです。ただマースとは違った価値観で絶対あるから。一石投じて、これで終わりではないんです。続けることが大事。いま建築と平行してリビング家電も進行中です。生活のなかでのデザインを向上させていきたい。共感して貰えて裾野を広げられたら」

鄭氏のいう「世直し」「プロジェクトが成功する日もそう遠くない」

「空間に調和する凛とした存在感。定番デザインがあつてもいいと思う。」

鄭秀和 インテンシヨナリーズ代表



Syuwa Tei

1968年神奈川県生まれ。武蔵野美術大学大学院造形研究科建築コース終了。95年建築デザイン集団「インテンシヨナリーズ」を設立。建築、インテリア、プロダクト、家具など生活におけるデザイン全般をてがける気鋭の建築家。



インテンシヨナリーズの設計した住宅に置かれたアテハカ。氏のいう「空間のなかでの凛としたたずまい」が感じられる。(写真/坂田峰夫)

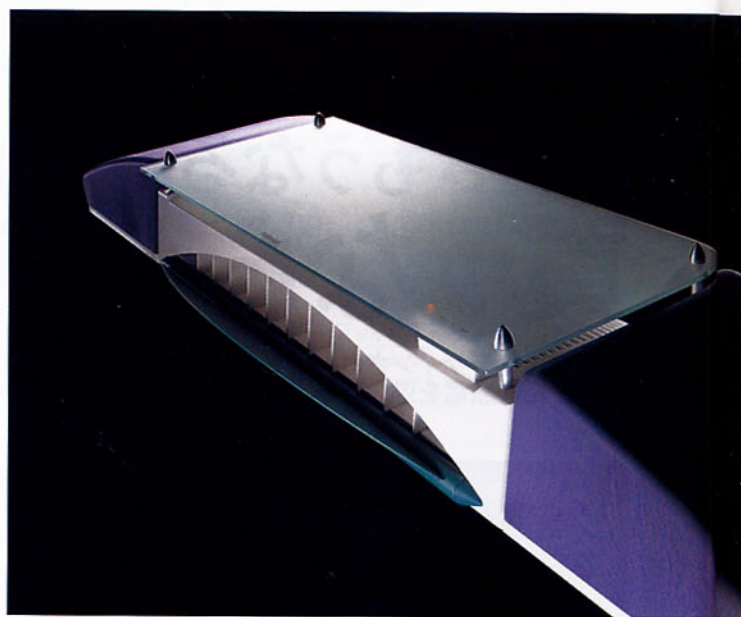
Toaster Oven

扉の下に設けられた横並びのボタンに遊び心を感じるオーブントースター。アテハカ



Rice Cooker

フラットな蓋部分には操作ボタンが美しく並ぶ。デザイン目地を効果的に使い、構造上の目地まで美しく見せている。アテハカ



Air-conditioner

1994年に製作された。有線放送の開けるエアコンで持続的な課金ができるビジネスモデルとして提案された。airプロトタイプ/エアコン



Television-set

家電ではないが、PDPがある室内空間をテーマにいろいろ置き方を提案したもの。東芝とのコラボレート。PDPスタンド/テレビスタンド

ていくか模索してるからです」

西山浩平氏は「空想家電」(現在は空想生活)の発起人である。これは、「こういうものがあつたらいいね」という声をCGで起こし、ネットで賛同者を募ってメーカーにつくってもらうシステム。いまでは生活雑貨から空間まで、ユーザーの求めるものをメーカーに伝え、商品化する事業も行っている。ユーザーの要望を実現化させる注目のひとなのだ。

西山氏が唱えるシステムが、多くの企業やユーザーに広まれば、家電はより進化していくだろう。そして生活者の立場から生まれたものが、長い時を経て残っていくことだろう。



Pot

直線と平面で構成されたロボットのようなジャーポット。こちらも目地を効果的に取り入れている。アテハカ